

津波から命を守るためには、「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」、
「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」・・・**すぐに避難!!**

津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。
その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

津波警報・注意報の分類ととるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超(10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m(5m<高さ≤10m)			
	5m(3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

避難時の心得

高い場所へ速やかに避難する

より高い場所へ、より海から遠い場所へ速やかに避難しましょう。



河川や海岸には近づかない

地震の発生や、警報・注意報が発表された場合、海岸や河川は危険ですので、釣りや海水浴を行っている方は、速やかに海岸から離れ、高い場所へ避難しましょう。



なるべく徒歩で避難する

車では渋滞や危険を招く可能性があるため、なるべく徒歩で避難しましょう。

正しい情報を入手する

防災行政無線やテレビ、ラジオなどから正しい情報を入手しましょう。



避難指示に従う

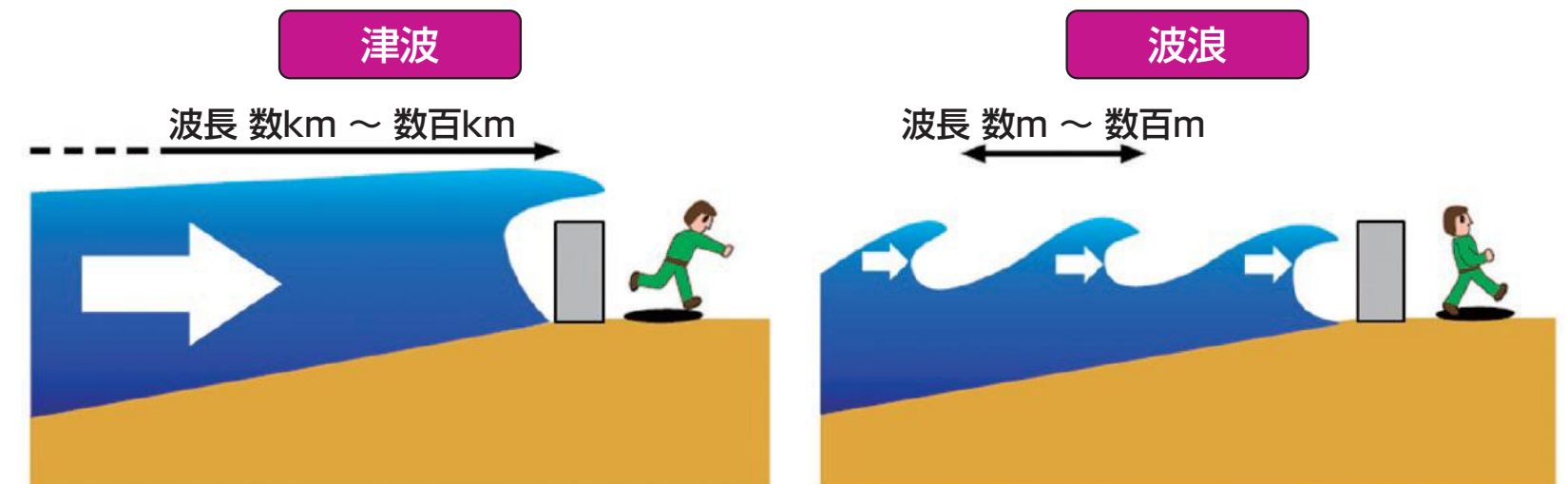
避難指示が発令されたらただちに指示に従い、安全で高い場所に速やかに避難しましょう。



津波と波浪の違い

津波は、海底地形が変形することで海面のもり上がりまたは沈み込みによる波が周囲に広がっていく現象で、海底から海面までの全ての海水が、**スピードのある巨大な水の塊**となって沿岸に押し寄せる現象です。このため、津波は勢いが衰えずに**連続して押し寄せ、沿岸での津波の高さ（発表される高さ）以上の標高まで駆け上がり（遡上高）**。しかも、浅い海岸付近になると**波の高さが急激に高くなる**特徴があります。

波浪は、海域で吹いている風によって生じる海面付近の現象です。



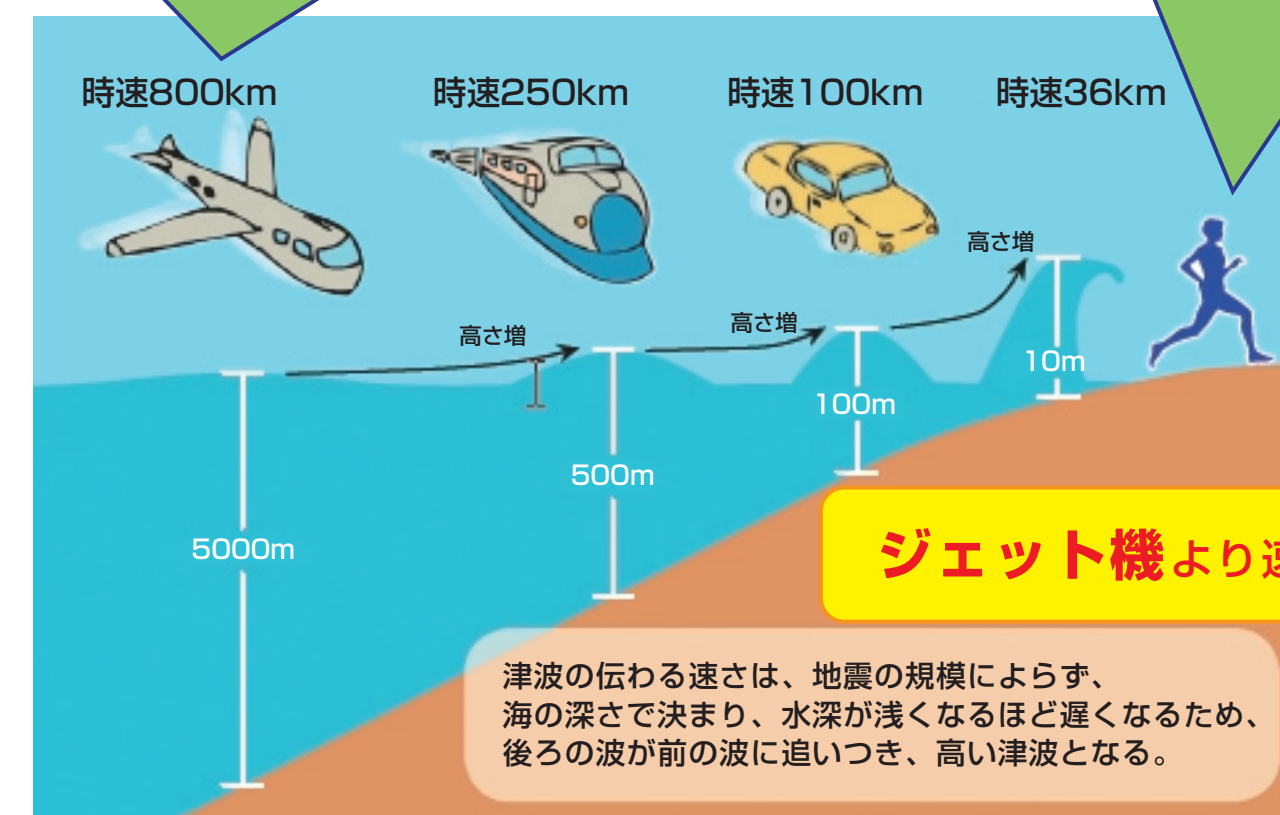
巨大な水の壁となって長時間力が加わる津波は、陸上のものを破壊しながら内陸まで一気に浸水する。

津波と高さが同じでも、波浪は波長が短いので一つ一つの波により加わる力は小さく沿岸で砕け散る。

津波に伝わる速さ

津波は、海が深いほど速く、沖合ではジェット機なみの速さで伝わります。

沿岸部では、オリンピックの短距離選手なみの速さ（1秒に10メートル）です。人が走って逃げ切れるものではありません。



ジェット機より速い津波の速さ

津波の伝わる速さは、地震の規模によらず、海の深さで決まり、水深が浅くなるほど遅くなるため、後ろの波が前の波に追いつき、高い津波となる。